

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	HIV感染者のトキソプラズマ抗体保有率と経時変化についての横断研究 -パンデミックがトキソプラズマ抗体保有者に与えた影響について-		
1. 研究の目的と方法	トキソプラズマは猫や食物から感染する寄生虫の一種です。一度感染すると長期間の慢性感染を引き起こしますが、免疫機能が保たれていれば症状はありません。一方で、免疫不全者では感染が再燃して重症になる場合があります。この研究では、HIV感染がある方の中でトキソプラズマの感染率を調べ、5年前の調査結果と比較します。またトキソプラズマに感染している方は、注意力が低下する可能性が示唆されています。この研究では、トキソプラズマ感染のある方におけるCOVID-19の罹患頻度を調べ、その関係性について評価します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2024年12月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	HIV感染のある患者さんで、上記調査対象期間に先行研究（新型コロナウイルスの抗体保有立と感染リスクの調査）に参加された方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	血液	
	(2) 試料の取得の方法	過去の先行研究（新型コロナウイルスの抗体保有立と感染リスクの調査）で提供されたものを使用します。	
	(3) 情報の種類	性別、年齢、BMI、ワクチン接種歴、検査結果（トキソプラズマIgG抗体、SARS-CoV-2 IgG抗体（Sタンパク、Nタンパク）、CD4陽性リンパ球数、HIV-RNAコピー数）など	
	(4) 情報の取得の方法	過去の先行研究（①新型コロナウイルスの抗体保有立と感染リスクの調査、②HIV感染患者におけるトキソプラズマ感染のリスク、頻度と活動性の調査）で取得されたデータを二次利用します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 感染制御科
		氏名	保科 斉生
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 感染制御科 堀野哲也	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

<p>6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて</p>	<p>この研究で扱う血液検体は、対象となる方のお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たな研究用の ID を用いて管理します。検体は臨床検査会社である、株式会社エスアールエルに送られ解析されます。検体は診療で扱う場合と同様の方法で検査会社の手で輸送され、結果は紙面で報告されます。</p> <p>試料・情報の利用開始日：2022年12月頃～</p>
<p><b>【問い合わせ先】</b></p>	<p>機関名：東京慈恵会医科大学 感染症科  研究責任者：講師 保科 斉生（ほしな ときお）  電話番号：03-3433-1111（内線 3721）  対応時間：平日 9：00 ～ 17：00</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。